

委員会提出議案第5号

防災対策の充実を求める意見書

標記の議案を次のとおり、桑名市議会会議規則第13条第2項の規定により提出します。

平成29年10月4日 提出

提出者 教育福祉委員会委員長 愛 敬 重 之

## 防災対策の充実を求める意見書

大規模災害発生時、学校は地域の避難所として大きな役割を果たすことになり、近年では平成23年の東日本大震災や昨年の熊本地震の際もその重要性は顕著であった。

多くの地域住民が長引く余震に不安を募らせながら避難生活をおくる上で、避難所には耐震・耐火性などの安全対策はもとより、避難者の生活を支えるトイレや発電設備、飲料水の確保などの対策が求められる。

しかしながら、現実には「体育館の照明や内壁の落下等により、避難所として使用するには危険」、「トイレまでの動線に段差や階段があり、車椅子利用者等への対応が困難であった」などの課題も報告されている。

平成27年5月1日現在、県内の公立学校のうち、569校が避難所指定を受けているが、防災関係施設・設備の設置率は、多目的トイレ72.2%、自家発電設備等73.3%、貯水槽・プールの浄水装置等33.0%など、十分であるとは言えない。さらに、避難所に指定される学校においては、地域と連携してどのような初期対応が必要か、また教職員が避難所運営にどうかかわるか等の議論も必要である。

巨大地震等の災害を想定した学校設備の整備を進め、それらがより一層活かされるよう、学校・家庭・地域が連携した防災・減災の地域づくりが急務である。

よって、国において、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実を図られるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年10月4日

桑名市議会

衆議院議長 様  
参議院議長 様  
内閣総理大臣 様  
総務大臣 様  
財務大臣 様  
文部科学大臣 様